

函館市で「北ガス」をご利用いただいているお客さま

約86,000件

※北ガスとご契約のお客さま件数 (2023年5月現在)

地域の未来、エネルギーの未来

北ガスは、これからもお客さまとともに
地域を支える新たなエネルギー社会を創り上げていきます

分散型電源の普及拡大と
徹底した省エネの推進

戸建から、地域単位までの
エネルギー管理

函館市と連携した
カーボンニュートラルへの挑戦



北海道ガス株式会社函館支店

函館市万代町8番1号 TEL:0138-86-7101 平日／9:00～17:00

<https://www.hokkaido-gas.co.jp/>

北の暮らし、もっとできること
KITAGAS



SIENTA

Photo:Z(ハイブリッド・2WD-7人乗り)、ボディカラーはアーバンカーキ(6x3)

家族にみんなに
いいこと SIENTA !



Z(7人乗り) | メインインパネ / Z(ハイブリッド・
2WD・7人乗り)。ボディカラーはアーバンカーキ
(6x3)、内装色カラーマジックは設定色(ご注文時
に指定が必要です。指定がない場合はブラックに
なります)。 ■写真は機能説明のために各ランプ
を点灯したもので、実際の走行状態を示すもの
ではありません。 ■画面はハメ込み合成です。

お問い合わせは、近くのネットトヨタ函館までお気軽に、ご相談ください。

すべてはお客様の笑顔のために
ネットトヨタ函館

美原店 0138-46-3131 八雲店 0137-63-2371
駅Side店 0138-26-5411 江差店 0139-53-6016
新道石川店 0138-47-4433 木古内店 0139-2-3398
七重浜店 0138-49-6511 イープネッツ美原店 0138-46-0222
ダイハツ八雲 0137-66-5556

本社／函館市美原2丁目7番24号 0138-46-4300

●お客様相談室 0138-47-0010 (受付時間AM9:30～PM6:00 毎週火曜日、第1月曜日は定休)



(10th)
anniversary

昨年12月、
函館 蔦屋書店は
10周年を迎えました。

「好き」が
「しさ」に
なっていく。

はじめて出会った人や音、映像、物語。
新しい好きを見つけた時の感動と
「好き」を育ん日々の暮らしに
少しずつみなさんの「らしさ」にな
つて行くこと。
これまでのやり直しがこれからも
私たちは大切にしていきま。



函館 蔦屋書店

函館市石町8-1 TEL:0138-47-2600 9:00～22:00 年中無休
<http://www.hakodate-t.com/>

オンラインストアでは、24時間お買い物が可能!
【函館 蔦屋書店オンラインストア】 <https://shopping.geocities.jp/hkd-tsutayabooks/>

広告ページ

CLIP

HAKODATE
[クリップ函館] Vol.7

【クリップ函館】vol.7

CLIP

HAKODATE

[クリップ函館] Vol.7



TAKE
FREE

CLIP HAKODATE 編集室



(一財)北海道国際交流センター(HIF)
INTERNATIONAL FOUNDATION
040-00054 函館市石町14-1 TEL: 0138-22-0770 FAX: 0138-22-0660

河村 大介
中川 伸二
夏井 俊介
中村 ひでのり
小宮 陽子
平野 陽子
河村 悅郎
中村 智一
松田 夏海
中村 美悠
吉村 真弓子
KOTOMI
ロミー
ディパーク・アーディカリ
谷川 真弓子
吉村 美悠
KOTOMI

塩村 勉
ケーラ・ヒンリックス
繆坂 麻規子
H-1Fスタッフ
アメリカミシガン大学学生
市立函館高校 教諭
CLIP ZAPPING
CLIP GALLERY
CLIP GALLER

田邊三知子
川村佳子
フローレンス・バゲンダ
新垣加奈
上生菓子
御菓子処 ひとつ風の
DEAR WOMEN
from H
道南のイベント情報イロイロ
HIF INFORMATION
H-1Fからのお知らせ
CLIP GALLER

埋め物のもの。
「話す」として

HIFが運営する「会話テーブル」は、日本人と外国人がオンライン上で、さまざまなトピックについて会話をする場だ。ただし英会話の習得が目的ではなく、使用する言語は基本的に日本語。コミュニケーション力について考えてみる。ちょっと変わったこの井戸端会議をきっかけに、外国人と日本語で話をする――。

埋まるもの。「話す」ことで

櫻坂麻規子／取材・文

何語であっても大切なのは「コミュニケーション力」。

2024年がスタートした。コロナによる規制なしの年末年始、普段あまり会わない親戚や友人と会ったり、家族とゆっくり過ごした人も多かったのではないだろうか。

先日、久しぶりに会った友人の話――。北海道のとある田舎町に嫁いだ彼女は、長年興味のあったホストファミリーに応募し、アメリカの高校生を1週間ほど受け入れることになった。小さい息子さんもすっかり懐き、交流を楽しんだ数日後、その町ではある噂が流れ始める。それは「〇〇さんとこの奥さん、英語ペラペラなんだって！」また時には「英語教える仕事すればいいんじゃない？」と言われることもあったとか。しかしあの本人は、「私は英語はペラペラじゃありません！」と満面の笑みで一蹴。確かにこれまで彼女が英語で誰かと話している姿は、ほとんど見たことがない（単に私がそういう場に巡り合う機会がなかっただけかもしれない）。ただ一つ言えること、それは彼女はコミュニケーション能力（コミュニケーション力）がとても高く高いのだ。

留学生と過ごした1週間の中で、使った言葉はほぼ日本語（ジェスチャー）。日本語がある程度話せる留学生だったこともあり、英語はほとんど使っていなかったという。それなのにその噂。どうして世間の目は、「外国人の人とコミュニケーションができる」＝「英語がペラペラ」となるのだろう。そこに実際にあったのは、語学力ではなくコミュニケーション力だったのだ。相手に何かを伝えたい、分かり合いたいという気持ちちは、時には言葉の壁を超えてくる。もちろん、語学力があるに越したことはない。しかし、そのベースにコミュニケーションがないと、せっかくの語学力を思う存分発揮することはできないのだ。

そんな彼女とは正反対に、私は根っからの人見知りで、小さい頃はろくに挨拶すらできず、ただ金魚のふんみたいに母親の

後ろにくっついて歩く子どもだった。人の性格はそう簡単に変わるものではない。だが、そんな私に転機が訪れたのは、大学4年生になる前の春休み。日本語海外教育実習というクラスでオーストラリアに行った時だ。

メルボルンから車で1時間ほどのところに、Geelong（ジーロング）という町がある。その町の公立のセカンダリースクール（日本の中学→高校レベルの一貫校）で、オーストラリア人の日本語の先生のもと、3週間ほど日本語クラスの実習をさせてもらうことになった。

実習前の授業見学で初めて生徒たちに会った時のことは忘れられない。目の前には海外ドラマのワンシーンを切り抜いたような光景が広がっていた。相手は高校生のはずなのに、自分よりも背が高くて妙に大人っぽい。日本語ではないクラスにお邪魔させてもらっていた立場なので、特に紹介されることもなく、生徒たちから見れば「今日は知らないアジア人がいる」くらいの認識、いや、認識してもらっているのであれば御の字だった。私は彼らの勢いに圧倒され、自分から話しかけるなんてもってのほか。何をすることもできない。文字通り「見学」するのみだった。自分の気配を消そうとさえしていたかもしれない。それでも、何人かの生徒と一緒に二言語話したかもしれないが、記憶にない。無力さを感じながら、ただひたすら話しかけられることを待っていた。英語力に自信がなかったこともあるかもしれないが、これはもう語学力云々の問題ではない。日本語でだってできないことは、外語でできるはずがないのだ。よく考えたらそれは当たり前のことなのだが…。この経験から、「自分の母語でのコミュニケーションがないと、もし仮に語学力があったとしてもそれをうまく生かせない」そう改めて実感させられた。つまり語学力のベースには、ユニバーサルなコミュニケーションが必要なのだ。

その後も、自分の見知りな性格はすぐには変わらなかったが、大学時代に住んでいた東京や、卒業後に過ごしたオーストラリア、そしてアメリカでさまざまな人たちと触れ合ううちに、少しづつ自分の中で何かが吹っ切れ、

私のコミュ力は以前よりマシになった。

コロナ禍の中で始まった「会話テーブル」。

HIFが担当する事業の中に、「HIF会話テーブル」がある。これは2020年、新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに始まったものだ。突然止まってしまった国際交流をどうにか存続させたいという思いのもと、まず、Zoomを使って生まれたのが「オンラインHIFラウンジ」。函館側の参加者は高校生だ。毎年授業の一環として国際交流をしてきた高校生と、留学したくてもできない海外（アメリカ）の大学生。双方のニーズに応えるべく、オンライン交流会を単発で2回実施した。それに手応えを感じ、函館側の対象を大学生にし、同年10月からは「HIF日本語＆英語テーブル」を定期的に開催することになる。それはその後、対象を大学生から一般へと広げ、名称も「HIF日本語＆英語テーブル」から「HIF会話テーブル」に変更し、現在に至っている。

やっていることは、当初からほぼ変わらない。3人前後の小グループに分かれてZoomのブレイクアウトルームに移動し、その日のトピック（話のテーマ）をもとに日本語で話す。その後グループを変えて2ラウンド目（日本語）、さらにグループを変えて3ラウンド目（日本語または英語）という流れだ。トピックは、「私のまち」「好きな〇〇」など、誰もが話しやすそうなものから、「タイムマシンがあつたら」「生まれ変わつたら」など、想像力を駆使して考えておかないとすぐには答えられないようなものまで、話すネタに困らないようにという意図で決めてある。話す時間・グループ・トピックなど、こちらの予想以上にたくさんの人間に参加している。理解したふりをして話を合わせてはいけない。とにかく何でもいいから質問してみる。相手や相手の話に興味を持つ、自然と話は広がっていく。そう、興味を持つという姿勢が大事なのだ。

これまでの実施回数は65回。延べ参加者数は1214人（日本側511人、アメリカ側703人）に上る。各回の平均参加者数は18.67人



「HIF会話テーブル」は、1シーズン8回、2~3ヶ月の単位で開催されている。基本的に函館市内や近郊に住んでいる方であれば、どなたでも参加可能。会話は日本語なので気軽に参加できる。やたらと日本文化に詳しい外国人がいたり、突拍子もない発言が飛び出したりと、楽しく時間を過ごしながら、異文化に触れるよい発見があったりもある。次回2月3月開催の詳細については11ページを。

た。「そうですか」と軽く聞き流してしまうと、そこで話は終わってしまう。だから、どんなことでもちょっと興味を持ってみると、理解したふりをして話を合わせてはいけない。とにかく何でもいいから質問してみる。相手や相手の話に興味を持つ、自然と話は広がっていく。そう、興味を持つという姿勢が大事なのだ。

日本文化に精通する外国人たち。

そんな交流の様子を見ていると驚かされることもある。まず、日本語はもはや日本人だけのものではないということ。会話テーブルでは、日本人参加者が希望した場合を除い

て使用する言語は日本語だ。当初、アメリカの大学生は日本語のネイティブスピーカーと話すことを目的に参加するのだろうと思っていたが、彼らが求めているのは「日本語を話せる場」であって、相手が日本人であるかどうかは、それほど大きな問題ではないのだ。それに気づいた時、日本語が何だか世界の公用語として使われているかのよう、少しだけ嬉しい気持ちになった。

日本文化や日本事情についても然り。例えば「会話テーブル」のトピックを「私のおすすめ」にした時の話。日本人のTさんは、「最近、やってみて面白かったので」と、今年、世界大会が函館で開かれたフィンランド発祥のスポーツ「モルック」を紹介してくれた。すると、アメリカの大学生Dさんが「モルック

日本人に聞いた「日本人とのコミュニケーションについて思うこと。」

●日本人はあいさつをする時も、話をする時も相手の目をあまり見ないように思います。それは私が外国人だからと思っていましたが、日本人同士でも多いように思います。（40代女性（アメリカ）東京在住）
●私が先にありがとうございますと言わべきなのに、先にありがとうございますと言わべきがあった。（20代男性（中国）函館在住）
●お客様が会社から離れるまで手を振っています。（20代男性（エジプト）函館在住）
●日本人は話すときに独特な手振りをします。たとえば、自分のことを言うときに鼻を指します（アメリカ人は胸を指します）。また、ノーと言うとき、飛んでいる虫を追い払うかのように手を前後に振ります（アメリカ人は首を横に振り

ます）。こうしたハンドジェスチャーの違いを学ぶのは楽しいと思います。（20代男性（アメリカ）函館在住）

●小さなエピソードですが、日本でお酒を飲むときに、一度も身分証明書の提示を求められなかったことに驚きました。アメリカでは若者がお酒を飲む時は必ず身分証明書の提示を求められますが、日本では一度も身分証明書の提示を求められたことはありません！これにはとても驚きました。（20代女性（アメリカ）アメリカ在住）

●日本人と一緒に交流して日常的なことを勉強すれば、自分の日本語レベルも上がると思います。もっと交流したいです。（20代女性（中国）函館在住）

●日本人にはみんなフレンドリーで笑顔が多いです。私もネガティブになってしまってはいけないようになります。（20代女性（イギリス・韓国）函館在住）

●日本に住んでいた時、「納豆は食べられる」「梅干しは食べれる」と、どこへ行っても食べ物について同じ質問をされて、少しいやだった。（30代男性（アメリカ）アメリカ在住）

●私は乗っている時に、私の隣に席が空いているのに誰も座らないので、嫌がられているのかと思っていました。でも、日本人の友達に「きっと英語で話しかけられたら恥ずかしいからだよ」と教えてもらいました。（20代女性（アメリカ）東京在住）

●僕が黒人だからだと思いますが、ジャズミュージシャンについて色々聞かれることが多いけど僕は音楽はあまり詳しくないので困ります。スポーツも得意ではないです。（50代男性

（アメリカ）東京在住）
●日本にいた頃、会話をしていて、Yesなどのかよくわからない返事が多くて困ったことがあります。（40代男性（カナダ）カナダ在住）

●日本人はもっと自分の意見を言う練習をした方がいいと思います。何を考えているのかわからないことがあります。（30代女性（アメリカ）東京在住）

●日本人と一緒に交流して日常的なことを勉強すれば、自分の日本語レベルも上がると思います。もっと交流したいです。（20代女性（中国）函館在住）

●日本にはいねいに話す言葉の種類がたくさんあるので、覚えるのがむずかしいです。（20代女性（中国）函館在住）

●シャイな人が多いなと思いますが、お酒を飲むと変わるものも多い。（30代男性（アメリカ）函館在住）

●私は普通だと思っていますことに対して、日本人は反応が大きいです。（20代女性（中国）函館在住）

●フレンドリーな人が多いと思いますが、もっと仲良くなろうとすると壁を作られるような気もします。（20代女性（中国）函館在住）

●今は慣れましたが、地下鉄に乗っている時、友達同士でもあまり会話をしないし、みんな静かでほとんどの人が携帯を見ているのが不思議で

した。30年前に日本に旅行に来た時は、スーツを着たビジネスマンが漫画を読んでいるのにびっくりしました。（70代男性（イギリス）東京在住）

●日本にも韓国にも住んだことがあります。日本人は静かで優しい人が多かったと思います。韓国人の方が自分の考えをはっきり言う人が多いように思います。もう一度住むなら日本の方がいいですが、人との関係は韓国の方がストレスを感じなかったと思います。（40代男性（アメリカ）アメリカ在住）

●社交辞令は、全部嘘だ。（20代女性（台湾）函館在住）

●私が日本語で話しかけているのに、親切だからだと思いますが、一生懸命英語で答えるうとする日本人が多いです。外国人はみんな英語を話すと思われているようですが、私は英語が苦手なので日本語で話して欲しいです。（30代女性（タイ）東京在住）

●大学のチーフーと初めて会った時、苗字で呼びました。でも、チーフーから、日本人は一般的に苗字ではなく名前で呼ぶと教えてもらいました。（20代女性（中国）函館在住）

●大学のサッカー部に入った時、みなさん部活を非常に真剣に、専門的に受け止めていると感じました。面白いです。（20代男性（ポルトガル）函館在住）

C O L U M N
「映画から大切に学ぶことの大切さを教えてもらうことがあります。」

「こどもかいぎ」は、映画「うまれる」シリーズの監督・豪田トモ氏が、東京近郊のある保育園を舞台に、園児たちが「かいぎ」する姿を1年間にわたって撮影した、2022年公開のドキュメンタリー映画だ。

「どうして生まれてきたんだろう?」「ケンカしないようにするにはどうすればいいの?」「宇宙で誰が作ったの?」…毎回さまざまな議題で話し合う子どもたちの様子は、シンプルに面白く、楽しい。そして大人にとっては、ハッとさせられる発見も多い。

「生徒の自己成長力を信じて、邪魔をしないようにする」「会話のキャッチボールを多めに」と心がけている。



監督／豪田トモ
2022年
日本配給
AMGエンターテインメント

生徒の自己成長力を信じて、邪魔をしない。

塩村 亮／市立函館高等学校 教諭

市

立函館高校では、昨秋から『総合的な探究の時間』という授業の中で『Ai GROW』を試験的に実施している。

これは生徒の資質・能力と教育活動の効果の可視化を目的としたテストだ。

経済産業省が実施している『未来の教室』というプロジェクトの一環で実施されているこのAi GROW。

もともとは企業の人事評価に使用されていたものが、教育用に改善された。

そんな塩村氏、現在は学級担任を受け持つていない。担任を持っていた時は、いつも切羽つまついて、結論ありきのコミュニケーションを取っていたように思います。焦り過ぎていたのか、引いた目で見ても、頭ごなしに言葉を選ばないで言ってしまう、なんてこともありますね。

それが今、少し別視野を広く持てるようになったと感じている。「経験というの、年数だけではない。自分を客観的に見て気づく、その気づきの回数なんだと思います。それによって自分の「カードの枚数」が増えている。成功経験だけで、それに固執してしまうのは決して良い結果を生みませんね。

「小さい頃からの対話の習慣が、発言する力、聞く力、思考力、表現力、そして想像力、創造力、共感力など、たくさんの芽を伸ばせる。自分と違う意見もあることで多様性も学べるし、考えを受け止めてもうことで自己肯定感も育まれる。僕らはもっと対話をしないといけない。まずは大人同士が「おとなかいぎ」をして、その中でコミュニケーションの仕方を学んでいく。そういったことも大事なのがなという気がします」と豪田氏は語っている。

に、Ai GROWの実施を決めたという。その際、生徒だけでなく、教師同士でもやってみた結果が前述の「平賀源内」だったという。

そんな塩村氏、現在は学級担任を受け持つていない。担任を持っていた時は、いつも切羽つまついて、結論ありきのコミュニケーションを取っていたように思います。焦り過ぎていたのか、引いた目で見ても、頭ごなしに言葉を選ばないで言ってしまう、なんてこともありますね。

それが今、少し別視野を広く持てるようになったと感じている。「経験というの、年数だけではない。自分を客観的に見て気づく、その気づきの回数なんだと思います。それによって自分の「カードの枚数」が増えている。成功経験だけで、それに固執してしまうのは決して良い結果を生みませんね。

「小さい頃からの対話の習慣が、発言する力、聞く力、思考力、表現力、そして想像力、創造力、共感力など、たくさんの芽を伸ばせる。自分と違う意見もあることで多様性も学べるし、考えを受け止めてもうことで自己肯定感も育まれる。僕らはもっと対話をしないといけない。まずは大人同士が「おとなかいぎ」をして、その中でコミュニケーションの仕方を学んでいく。そういったことも大事なのがなという気がします」と豪田氏は語っている。

PRO F I L E

大分県生まれ。青山学院大学卒業後、日高管内の高校に16年間勤務。その後、市立函館高校の英語教員として来歴。今年で10年目を迎える。北斗市在住。二児の父。

(※1・2)ハイコンテクスト・ローコンテクスト
ハイコンテクストとは、文化の共有性が高く、言葉以外の表現に頼るコミュニケーションを指す。言葉による説明が少ないため、会話の際に表情や声のトーン、体の動きなどを読むことが求められる。また、共通認識や文化的背景、知識を前提とする。対人コミュニケーションと呼ぶべきものではなく、個々の文化圏での表現が複雑である。

一方で、ローコンテクストは、言葉を主に用いる。

(※3) サークルタイム
サークルタイムは、小さな頃から言葉で自分の気持ちや状況を明確に他人に伝える事を教育される。右ページのコラムで紹介する映画「こどもかいぎ」の監督・豪田トモ氏は、この映画の制作にあたり、カナダの保育園で出会った「サークルタイム」(※3)や、スウェーデンの学校で子どもたちが輪になって話しあう「ライフスキル」(※4)という授業などに触発されたと語っている。小さな頃から人と会話する力を鍛えられるそのような文化圏では、ハイコンテクスト文化のコミュニケーションは幼く見えるかもしれない。

ただ、ハイコンテクスト文化の日本を否定するつもりは全くない。ものごとをはっきり言うアメリカ式のほうが、曖昧な物言いをする日本式よりもよい、といった短絡的な考えには違和感を覚える。どちらが良いとか悪いとかという問題ではない。日本人同士のコミュニケーションにおいては、それがスムー

シ。互いの顔を見ながら対話することで、主体性や協調性、話す力、聞く力、相手を理解する力が育まれる。欧米では以前から実践されていたが、近年、日本でも教育現場に取り入れる動きがある。

(※4) ライフスキル
スウェーデンのある学校では、授業の中に「ライフケル」というカリキュラムがあり、命や家族、性、ジェンダー、恋愛感情やコミュニケーションの仕方の他、薬物やアルコール、差別や平等などをテーマに、子どもたちが話し合うことで、様々な観点から考え方、分析し、問題を解決していく力を養っているといいます。

(※5) コンピテンシー
その人が持つ能⼒や、専⾨知識を使って行動を起こす「行動特性」のこと。

クと言えば、日本で有名なのは『さらば青春の光』の森田さんですよね」とコメント(お笑いコンビ『さらば青春の光』の森田哲矢氏は、日本代表として世界大会に出場するほどのモルック愛好家らしい)。なぜか、一本取られたような気がした。でも、情報があふれる現代社会において、日本人より日本に詳しい外国人がいても全く不思議ではないのだが。ちなみにDさんは、日本のラジオ番組をいつも聞いていて、情報を得ているそうだ。どうりで

知識豊富だし、話の切り返しがよく、会話のテンポもいい。ラジオのパーソナリティという話しのプロの影響が大きいのだろう。

コミュ力を磨く訓練の場。

「会話テーブル」は、どうしても「日本とアメリカ」「日本語と英語」のように、2つのグループが会出場のように見られがちだが、

日本語をほめられることに困惑した思い出。 ケーラ・ヒンリックス／アメリカ・ミシガン大学学生

「はじめまして。ケーラです。アメリカのミシガンから来ました。よろしくお願いします」という自己紹介。昨年の夏、HIFの「日本語日本文化講座夏期セミナー」参加者として函館に2ヶ月滞在している間、いったい何度繰り返したんだろう。そして、それを聞いた日本人は決まって「日本語上手ですね」とほめてくれたが、その度に何と返すべき困惑したケーラさんは言っていた。『ただ自己紹介しただけなのに、なんでだろう?』と思った。英語だったら「Thank you」と言うところだが、日本語では「いやいや…」と謙遜することも知っている。結局、日本にいるのだからと、日本流に謙遜することにした。

函館では色々な人と話す機会があったが、わからない時はいつも言い直してくれるので「函館の人はやさしい」とケーラさん。しかし、港まつりのいか踊りに参加した時のこと。出番を待っている間、隣にいた50代くらいの女性に話しかけられ、彼女の言っていることが理解できなかったので、「すみません、もう一度お願ひします」と伝えると、「なんでおわからんの?」という雰囲気で怪訝な顔をされたという。でも、ケーラさんはその時のことを「嬉しかった」と振り返る。なぜなら、ネイティブレベルの日本

語を期待されているような気がしたし、自然な日本語での会話練習にもなったからだ。ちなみに、外国人の日本語をほめるという文化は日本独特のようだ、アメリカでは、外国人でも英語を話せて当たり前という考え方があり、ほめることはないそうだ。『人と話すのが大好き』というケーラさん。友人や新しく出会った人と話す時には、ジョークも交えながら、飾らずに素の自分を出すように心がけている。恥ずかしくてちょっとぎこちなくなることもあるようだが、それでもえて隠さずに、『面白さ』に変えているところ。

現在ミシガン大学の4年生。卒業後はJETプログラムに参加し日本で語学指導をしたいと思っている。そして、将来はアメリカで高校の教師になるのが夢だという。「日本が大好きなので、自分の知っている日本の素晴らしい文化を高校生に伝えたい」と好奇心旺盛で勉強熱心なケーラさんは語る。



PROFILE

アメリカミシガン州出身。ミシガン大学でアジア研究を専攻中。2023年夏にHIF主催「日本語日本文化講座夏期セミナー」に参加し、函館の2つの家庭でホームステイを初体験。趣味はビデオゲーム。

それは違う。その場にいるのは、それぞれ異なる興味や個性、そして語学力を持った個々人だ。そんな人たちが集まり会話を楽しむ。たとえ相手の語学力がそれほど高くなかったとしても、何か一つでも共通点があれば瞬時にわかり合えることがある。たとえば、近年、海外では80年代のジャパンーズポップスが人気である。ある日、参っていたアメリカの大学生Sさんが「安全地帯が好きです」と手が「察してくれる」という人がいる。つまり、『思いやり』『気くばり』『心づかい』ということが重視されるハイコンテクスト文化(※1)だということ。それに対し、英語圏でのそれはほぼ言葉が支配するローコンテクスト文化(※2)であり、特にアメリカは最もローコンテクストな国だとされている。世界の中でも、東アジアはハイコンテクスト文化の割合が高く、とりわけ日本は極端にハイコンテクスト文化であるために、外国人に対し、日本人のコミュニケーション方法は通用しにくいと言われているのだ。もちろん、これは国や民族ばかりではなく、同じ国の中でも世代や地域、また個人によって相対的なハイとローはあるだろう。

ローコンテクスト文化圏では、小さな頃から言葉で自分の気持ちや状況を明確に他人に伝える事を教育されるという。右ページのコラムで紹介する映画「こどもかいぎ」の監督・豪田トモ氏は、この映画の制作にあたり、カナダの保育園で出会った「サークルタイム」(※3)や、スウェーデンの学校で子どもたちが輪になって話しあう「ライフスキル」(※4)という授業などに触発されたと語っている。『沈阳で話す』ことによってもたらされる新しい情報や気づき、発見、そして人とのつながりなど、+αの何かがあるからに違いはない。実際、アメリカからの参加者の中には、遠路はるばる函館まで遊びに来てくれた人もいる。「会話テーブル」には、「話す」ことによってもたらされる新しい情報や気づき、発見、そして人とのつながりなど、+αの何かがあるからに違いはない。実際にできるなら苦勞はない。自分の言いたいこと、自分の気持ちを相手に伝えるための努力は必要だが、こちらの考え方の押し付けになってもいけないし…。

ただ、『他者との違いを知ること』が、まず大切ではないかと私は思う。そして、その違いの幅(対象の数)が広ければ広いほど、違いを受入れやすくなる。例えば、自分と誰か(または何か)の2つだけだとしたら、きっと人間は無意識にその2つを比較して、優劣をつけてしまうだろう。でもその違いが複数あれば、つまり多様性の幅が広がれば、そのうちの1つなんてちっぽけなものだと思え、自然と許容範囲が広がり、他者との隙間が少しは埋まるかも知れない。

もちろん、違いを見つける相手は外国人に限る話ではない。日本の社会の中でも、世代、職場、趣味、出身など、私たちの周りには「違い」が溢れている。でも違いがあればあるほど気づきが多くなり、そんな新しい気づきが、人生をより豊かにしてくれるのではないかと思う。

ハイコンテクストとローコンテクスト。

さて、一般的に日本人は他の国の人から「コミュニケーション下手」と評価されることが多いと思う。私が以前(実は今も)「人見知り」だったように、シャイであり自分の意見を言

わない人間が多いとも言われる。また、対外国人ばかりではなく、日本人同士でもはっきりと自分の考えを言わないし、言い争うことを避ける傾向があると――。

それにはさまざまな理由が考えられるだろうが、理由の一つに、日本人のコミュニケーションの特色は「伝える意志がなくても伝わることだ」という人がいる。つまり、相手が「察してくれる」という人がいる。つまり、『思いやり』『気くばり』『心づかい』ということが重視されるハイコンテクスト文化(※1)だということ。それに対し、英語圏でのそれはほぼ言葉が支配するローコンテクスト文化(※2)であり、特にアメリカは最もローコンテクストな国だとされている。世界の中でも、東アジアはハイコンテクスト文化の割合が高く、とりわけ日本は極端にハイコンテクスト文化であるために、外国人に対し、日本人のコミュニケーション方法は通用しにくいと言われているのだ。もちろん、これは国や民族ばかりではなく、同じ国の中でも世代や地域、また個人によって相対的なハイとローはあるだろう。

ローコンテクスト文化圏では、小さな頃から言葉で自分の気持ちや状況を明確に他人に伝える事を教育されるという。右ページのコラムで紹介する映画「こどもかいぎ」の監督・豪田トモ氏は、この映画の制作にあたり、カナダの保育園で出会った「サークルタイム」(※3)や、スウェーデンの学校で子どもたちが輪になって話しあう「ライフスキル」(※4)という授業などに触発されたと語っている。『沈阳で話す』ことによってもたらされる新しい情報や気づき、発見、そして人とのつながりなど、+αの何かがあるからに違いはない。実際にできるなら苦勞はない。自分の言いたいこと、自分の気持ちを相手に伝えるための努力は必要だが、こちらの考え方の押し付けになってもいけないし…。

ただ、『他者との違いを知ること』が、まず大切ではないかと私は思う。そして、その違いの幅(対象の数)が広ければ広いほど、違いを受入れやすくなる。例えば、自分と誰か(または何か)の2つだけだとしたら、きっと人間は無意識にその2つを比較して、優劣をつけてしまうだろう。でもその違いが複数あれば、つまり多様性の幅が広がれば、そのうちの1つなんてちっぽけなものだと思え、自然と許容範囲が広がり、他者との隙間が少しは埋まるかも知れない。

もちろん、違いを見つける相手は外国人に限る話ではない。日本の社会の中でも、世代、職場、趣味、出身など、私たちの周りには「違い」が溢れている。でも違いがあればあるほど気づきが多くなり、そんな新しい気づきが、人生をより豊かにしてくれるのではないかと思う。

日本人に聞いた アレといふ コミュニケーション

●同じ学生寮に住む同学年の留学生さん。いつも笑顔で、おしゃべりをする時も、言葉と表情でしっかり反応を返してくれるし、時にはははと笑うこともしばしば。私が辛かったことを話している時は、遮らず否定もせず最後まで向き合って話を聞いてくれた、優しい雰囲気の人。(40代女性)

●私は内向的なので、グループでコミュニケーションをとるのが難しいことがあります。(20代女性)

●日本人は、目を合わせて話してくれない人が多いと思いました。(20代女性)

●バスの中で、ある女性と日本語で会話してい

たる、その女性の友達が女性に、「英語が話せるなんて知らなかっただ」と言つたんです。なぜなら、その友達は、私とその女性が英語で話していると思ったんです。とても面白いと思いました。トイレもアメリカよりもかなり進んでいます。最初は使い方が覚えるのが大変でしたが、それも面白かったです。(20代女性)

●日本では、お礼や敬語がアメリカや中国よりも多いです。だから文章はときどき長くなります。(20代男性)

●生活の中で色々なルールが多いと思います。

エスカレータに乗る時も、電車の中でも、オフィ

スで話をすると時も、たくさんあるので慣れるの

がむずかしいです。でもそれがいいこともたく

さんあります。(20代女性)東京在住)

●1.日本語で「ここにちは」って言ったら、「日本語上手ですね」って褒められて、ちょっと気まずかったです。2.日本人は謝ることが多いと思います。3.日本人は敬意を表すために頭を下げるのが一般的だと思いますが、これはアメリカでは結構多くいます。

●4.アメリカ人の友達に「日本語の『よろしくお願いします』とは何が」と尋ねられますが、英語で訳すのは本当に難しいです。挨拶の時にこのようなフレーズを使う言語は日本語以外に見たことがないです。

(20代女性)

●私は内向的なので、グループでコミュニケーションをとるのが難しいことがあります。(20代女性)

●去年の夏、高校時代の日本人の友だちに会つたのですが、その友だちは私が日本語をあまり

理解していないにもかかわらず、よく日本語で話しかけてきます。夜だったので「こんばんは」と返事をしたのですが、「こんばんは」と混同して「ぱんにち」と言いついてしまいました。今では会うたびに「ぱんにち」としか挨拶してくれません。(20代女性)

●日本に初めて来た時、買い物に行っても、飲食店に行ってもみんなでいねいで親切なことにびっくりしました。(20代女性)

●日本人は自分の意見をはっきり言わないと、



CLIP GALLERY

クリップ・ギャラリー

6

CLIP ZAPPING

●クリップ・ザッピング

January - February 2024

外国人の就労に関する「函館モデル」を目指して。

P E R S O N

河村 悅郎

(有)河村工業 代表取締役

PROFIL

旭川出身。ICU卒業。ウィスコンシン大学マディソン校東アジア言語・文学学科修士課程修了。日本語アシスタント、南カリフォルニア大学日本語専任教師を経て2013年9月からHIEスタッフ。

I went to Chicago on my father's plane.

A メリカの私立大学で教えていた時のこと。冬休みを間に控えた12月下旬、1人の学生がオフィスにやってきました。帰り際「先生、Happy New Yearは日本語で何と言いますか?」と聞くので、「あけましておめでとうございます」と答えました。すると、さわやかに「先生、あけましておめでとう!」と言って去って行きました。…英語と違ってまだ使えません。「よいお年を」も紹介すればよかったと反省。

年末年始は、日本に一時帰国することもありました。成田行きの飛行機に乗り込むと、大学のロゴが大きくプリントされたスウェットを着ている学生がビジネスクラスでくつろいでいるのを横目に、その先にあるエコノミー席を探す私(一応先生)。慣れっこです。

ある日、初級クラスの宿題に、こんな助詞の穴埋め問題がありました。

私は冬休み()父()飛行機()シカゴ()行きました。

大半の学生が「父と飛行機でシカゴ行ったと答える中、1人の学生が「父の飛行機で行ったと回答。なるほど、そう来たか。庶民には出てこない発想。その学生には「父」と「父の」の違いを説明しておきましたが、お父さんが本当に飛行機を持っているかどうかは聞けませんでした。

別のクラスでは「清水寺」という言葉が出てきたので、「清水の舞台から飛び降りるつもりで、へ~する」という表現を紹介。使い方の一つとしてあるのが、高額な買い物をする時です。例えば車でしょうか。でも、例文を作るのにひと苦労。だって、普段からBMWやベンツを乗り回している彼らにとって、一体どんな車を買えば清水の舞台から飛び降りることになるのでしょうか。結局、ロールスロイスか何かにしましたが、それでも飛び降りきれていなかったかもしれません。

相手の立場に立って考えることの大切さを学びました。

元新聞記者・中川大介の【やっぱり気になるあの話】

(「浮かばれないねえ」)

IN 院中の父親が急死して、葬式を出した。行年90。大往生だが、あまりに急で、なんの準備もしていなかった。葬儀社も、葬儀の仕方も決めていない。病院で「ご遺体の引き取り、何時になります?」と問われて焦った▼慌てて葬儀社に電話して、なんとか2社目に引き受けさせてホッとしたのもつかの間。当地には親戚も、父親の友人知人もほんとうないから、ごくごく小さい家族葬で、と葬儀社に頼んだ。だが、のっけから2日葬なら想定額の3倍かかると言われて驚いた▼ベースプランといふのは祭壇や棺、靈柩車や運営スタッフの費用などで、それだけじゃ恰好つきませんよ、という感じだ。花や供物も一時限りのもの。1日葬で質素にしたい、と言うと、安いプランが出てきたが、それでも上乗せ分を含め想定額の2倍。急に引き受けもらったり、先を急ぐしーと、飲み込んだ▼他社と比べることもできないから、それの費用が適正価格か、なんてわからない。指値みたいなものだ。生前に費用の検討や積み立てといった備えをしていないことを後悔した▼郷里東北の菩提寺に連絡して葬式を当地で行う旨、了解を得たが、「そちらでは告別式でとどめてください。戒名は当方でお授けして葬儀もしますから、納骨のとき連絡してください」と仰る。それもまた少なくないおカネの要る話だ▼この菩提寺とは20年ほど前の亡母の葬儀の際、遺言に從つて「戒名不要」を貫きとおすに2時間ちかく押し問答した。戒名がないとお仏壇様の弟子になれない、成从できない、とお寺は言うが、宗教上の理屈をすんなり受け入れられるほど、日ごろから寺と付き合いはない。心細くもない▼葬式や火葬を終えて父親の荷物を整理していく、終末医療に関する希望や家族への感謝の言葉を書いた紙が出てきた。そこに「戒名は要らない」とある。またも寺とやり合わねばならぬのか。思う通りの見送られ方をしてもらえないなら、故人も浮かばれまい。ねえ、おとつあん。

PROFIL

岩手県生まれ。北大卒。新聞記者として道内外で約30年働き、2022年退職。現在は函館で日本語を教えつづライター。編集者として「編集工房かぎち金」を主宰。趣味は合気道、マラソン、水泳、漫画、猫といふこと。

十奈
 良時代が起源とされる和菓子だが、その中でも「上生菓子」が大きく発展したのは江戸時代になってからのこと。それに「茶の湯(茶道)」が大きな役割を果たした。動物や植物、自然の情景などを毛筆で、季節の移り変わりを繊細な色造形で表現する上生菓子は、細やかな美的性を重んじる茶道では場を演出する立役者となつた。上生菓子と一言で言っても、練切(ねりきり)、巾団(きんとん)、求肥(きゅうひ)、外郎(ういらう)、鹿子(かのこ)、時雨(しぐれ)など、用いられる材料や技法によってその種類はさまざま。木型を使用するものもあれば、手形ものといって一つ一つ手作業で整形するものもある。

和菓子店には、季節ごとにさまざまな菓子が並ぶが、年の初めには、新年の祝い菓子として、松竹梅などをテーマとした「賀正菓子」が店頭を飾る。また、正月の定番菓子として「施(はなびら餅)」がある。函館を代表する和菓子の名店「御菓子処ひとつ風」の店頭にも、年の初めにはこの施餅が並ぶ。

(有)河村工業 代表取締役

御菓子処 ひとつ風
 函館市松風町8-1 0138-54-8977
 営業時間: 9:00~18:00 定休日: 毎週水曜日
<https://hitotsukaze.shop>

挟み込まれた牛蒡は、押餅(古来、新年の祝いに用いていた餅)に見立てたもの。

PROFIL
 函館市出身。中央大学法学院法律学科を卒業後、東京で音楽出版社事業と企画・デザイン、経営コンサルティングを行なう株式会社クラウナースデザインを設立。2012年に家の建築塗装業に入り、2022年4月より現職。その後で東京での経験を基に道南地域の中小企業の経営改善を提唱する。



日本語を通じて新しい世界を知る。

HIEスタッフ・日本語講師 横坂麻規子

●クリップ・ザッピング

January - February 2024

7

EDITORS' NOTES

●今年の夏あたりから、HIFのある八幡坂には連日多くの外国人観光客が訪れている。また、ホテルやコンビニに行くと、多くの外国人が働いているのを目にすることがある。確実に変わりつつある社会の中での外国人の役割、そして働く場所としての北海道についていろいろと考えてみたいものだ。(池田)

●スーパーの鮮魚売場でときどき見かける「タコドーグ」。気になって、立ち止まって、数秒じっと眺める。「そのまま召し上がれます」と書いてはあるものの、いつもあと一歩勇気が出せません。一体どんな味がするのでしょうか。今年は勇気、出せるかな。(綾坂)

●久々に重めの風邪を引いたとき、今まで見たことがないんでもない鼻水が出了した。鼻から脳器がでた！と思、調べると脳器じゃないみたいで一安心。いつか出てからはすっかり元気！からだは不思議な事が多いで。新年早々汚い話をしまいました。あけましておめでとうござります！今年も楽しく！(吉田)

●体調不良に陥り、のど飴を主食としていた話を書きましたが、体重は増減しませんでした。子どもの看病時=自分が倒れないように食べまくる。自分の体調不良時=なにも食べられない。これによりプライマゼロだったようですが、皆様もご自愛ください。(松田)

●雪国生まれなくとも冬民長が長くなり、前職で四季を問わざ歩き回っていたので、雪の上を歩くことには慣れた。そもそも歩くことが好きなで、雪の上を歩くことも好きである。でも氷の上は……。(谷川)

●我が家には猫が3匹いるのですが、冬になると外で暮らす野良猫たちが寒そうに丸くなっているのを見かけるたびに心配になります。散歩しながら野良猫たちの様子を見に行きます。無事に寒い冬を乗り越えられますように=^・^=(吉村)

●1年前まで作業をしていた某雑誌の同僚で、本誌でも連載をお願いしている平野陽子氏が先日家を購入した。おめでたい。リビングに木棚を設置したいという手伝うことになったが、たった2日間の作業だったのに翌朝目が覚めると身体中が痛い。大袈裟ではなく命の危険さえ感じるほど苦しみだった。原因は加齢と極端な運動不足。数年前から、年の初めには「今年こそ運動しよう」と決意するが、数日するとすっかり忘れてしまうのは、これも加齢によるうらやましい(中村)



道南イベント情報いろいろ。

ふるる函館の 2つの冬の企画。

函館市谷地頭町の函館市青少年研修センターふるる函館で、小学生を対象とした1泊2日の「ふるる冬キャンプ」を開催する。これはふるる函館が定期的に開催している子どものためのイベント。キャンプといっても宿泊するのではなく函館。冬の寒さに負けずに、雪の上で宝探しやソリ遊びをしたり、早朝に朝日を見に行ったり、みんなでいっしょに食事をしたり…。仲間作りのための懇談会など、内容も盛りだくさん。

●ふるる冬キャンプ

【日時】1泊2日
1/20(土)13:30~ 21(日)~11:30
【対象】小学校3~6年生(定員40名)
【参加費】2,500円
(宿泊費・食費3回分・活動費・保険代)



雪の上で元気に遊ぶ子どもたち。(前回の冬キャンプ)

また、中学生以上を対象に1泊2日の「ボランティア入門養成講座」も開催される。これは日高青少年自然の家の石山浩幸さんを講師に招き、ボランティ

アの役割や子どもの活力を引き出す関わり方を学ぼうというもの。

●ボランティア養成講座

【日時】1泊2日
2/17(土)13:00~ 18(日)~15:30
【対象】子どもたちとの体験がテーマに興味関心のある中学生以上
【参加費】2,500円(定員15名)
(宿泊費・食費3回分・活動費・保険代)



ワークショップなどの実践的なプログラムが用意されている。

【場所・主催・問合せ】
函館市青少年研修センターふるる函館
函館市谷地頭町5-14
0138-23-5961
email info@furuur.or.jp

北海道の 多文化共生を考えよう

現在、北海道には技能実習生をはじめ、日本語を母語としないたくさんの人たちが生活している。さまざまな言語・文化・習慣をバッくボーンとする彼ら、彼女らへの共生支援のあり方や、地域日本語教育の取り組みについてみんなで考えながら、同時に支援者の間にゆるやかなつながりをつくる

うというの、オンラインシンポジウム「まるごと北海道ワイワイ考える多文化共生のイマ」だ。興味をお持ちの方はぜひご参加を。

【日時】2/21(水)13:00~16:00

【場所】
プレミアホテル CABIN PRESIDENT 函館
函館市若松町14-10
【参加費】無料
(入退場・服装自由、予約・履歴書不要、託児あり、駐車場料金無料)

【形式】オンライン配信

【サテライト会場】

北見／北見工業大学、旭川／ファミリール坊、函館／函館市コミュニティプラザGスクエア、帯広／JICA北海道センター(帯広)、釧路／釧路市交流プラザさいわい

【内容】

第1部／はじまる！北海道の共生事業

第2部／

PART-01 共生の現場から生中継

PART-02 こんな取り組み、どうですか？

【日時】1/27(土)13:00~17:00

【参加費】無料(定員200名)

（宿泊費・食費3回分・活動費・保険代）

雪の上で元気に遊ぶ子どもたち。(前回の冬キャンプ)

また、中学生以上を対象に1泊2日の「ボランティア入門養成講座」も開催される。これは日高青少年自然の家の石山浩幸さんを講師に招き、ボランティ

冬の函館の魅力を伝える 夜を彩る「ひかり」のイベント

P I C K U P

「はこだてクリスマスファンタジー」が終わっても、冬の函館の美しさを演出するイルミネーションイベントはまだまだ続く。そこで、2月末まで楽しめる光、溢れるイベントを駆け足で紹介したい。



【はこだてイルミネーション】

元町地区の坂道の街路樹をイルミネーションで飾り、光の回廊に。

【期間】~2/29(木) 日没~22:00

【場所】八幡坂、二十間坂、基塚、はこだて明治館前の開港通り

<http://www.hakodate-illumination.com>



【はこだて冬花火】

2月の毎週土曜日、緑の島から花火が打ち上げられる。

【期間】2/3(土)、/10(土)、/17(土)、/24(土)

20:00から10分程度

【場所】函館港緑の島

<http://www.hakodate-illumination.com>

夜を彩る「ひかり」のイベント

P I C K U P

【はこだてひかりのガーデン】
LEDパーライトやスターダストレーザーなどで駅前広場を光の空間に。

【期間】~2/29(木) 17:00~23:00

【場所】JR函館駅前広場

<http://www.hakodate-illumination.com>

【HAKODATE LUMI-POP (はこだてルミポップ)]
「海」をテーマに大門エリアで開催されるイルミネーションイベント。

【期間】~1/31(水) 16:00~22:00

【場所】はこだて(大門)グリーンプラザ

函館市経済部 0138-21-3306

【湯の川冬の灯り】
市電「湯の川温泉」電停そばの足湯から、皎川沿いを優しく華やかに灯りで演出。

【期間】~2/29(木) 日没~19:00

【場所】特別史跡五稜郭跡(五稜郭公園)

五稜星の夢実行委員会 0138-51-4785

冬の函館の魅力を伝える 夜を彩る「ひかり」のイベント

P I C K U P

毎年冬に開催されるジャズのライブイベント「HAKODATE WINTER JAZZ FESTIVAL」の今年のテーマは「SUN & WIND」。寒い冬だからこそ、熱いリズムと爽やかな音色に自然と体が踊りだすような、そんな陽気な音楽をたっぷりと味わえる。

【出演】大口 純一郎(ゲスト)、kanochika、BANDA CASTANA、蓑田峻平 × mimizuku × 竹内稔

【日時】1/28(日)

開場 13:30

開演 14:00~

【場所】函館市芸術ホール

【料金】

一般 2,000円

ベア 3,500円

U25 1,000円

※ ざいだんの会員は

1,500円(1会員2枚まで)

チケット取り扱い: 函館市芸術ホール・函館市民会館・七飯町文化センター・北斗市総合文化センター・ローリンチケット(Lコード:D:11308)

道南冬の食の祭典 はこだてFOODフェスタ

恒例となった函館・道南の食の魅力が集まる冬のグルメイベント「はこだてFOODフェスタ2024」が、今年も函館アリーナで開催される。「ご当地メニューを販売するテーマブース」「フードやスイーツの販売ブース」「地元産品のマルシェブース」の他、学生たちが企画したメニューを限定販売するコーナーや企業PRブースも出展。その数合計70ブースを開設予定。また料理教室や調理実演などを体験できるFOODアカデミーも実施する。

【日時】2/23(金)11:00~20:00
/24(土)10:00~17:00

【場所】函館アリーナ メインアリーナ



函館 萬屋書店の ハンドメイドマルシェ

函館 萬屋書店で不定期に開催されている「はこだてマルシェ」。2月は「りんごいのあかずきん」と題する函館在住の作家たちによる「ずっと大切にしたいくなる。ようなハンドメイド雑貨が



恒例となった函館・道南の食の魅力が集まる冬のグルメイベント「はこだてマルシェ」。2月は「りんごいのあかずきん」と題する函館在住の作家たちによる「ずっと大切にしたいくなる。ようなハンドメイド雑貨が

【日時】1/24(土) 11:00~18:00
/25(日) 10:00~17:00

【場所】函館 萬屋書店 中央吹き抜けマルシェ

函館市石川町85-1

【問合せ】

りんごいのあかずきん実行委員会 090-1521-8756

オリジナル作品がいっぱい。 「ざいだんアートマルシェ」

函館市民会館を会場に、函館市内や近郊のハンドメイド作家・アーティストが制作するさまざまなジャンルのハンドメイド作品を展示・販売する。当日はワークショップも同時開催。魅力あふれる「一点モノ」に出会いがあるかも。

【日時】1/20(土)10:00~16:00

【場所】函館市民会館 3F 小ホール、大

会議室、展示室(予定)

函館市湯川町1丁目32-1

0138-57-3111

チケット取り扱い: 函館市芸術ホール・函館市民会館・七飯町文化センター・北斗市総合文化センター・ローリンチケット(Lコード:D:11308)

チケット料金: 10:30~18:30 水・木曜休館

【場所】アトリエヘチカ 函館市弁天町13-4

instagram opsd_coffee_snp

着色は主にアクリル絵の具だが、使用する材質にこだわりはない。希や木材、粘土など、使えばそれなりに使う。

【日時】1/13(土)~28(日)

10:30~18:00 水・木曜休館

【場所】アトリエヘチカ 函館市弁天町13-4

instagram opsd_coffee_snp

着色は主にアクリル絵の具だが、使用する材質にこだわりはない。希や木材、粘土など、使えばそれなりに使う。

【日時】1/21(日) 11:00~12:00

【場所】函館 萬屋書店

1階DEN(暖炉スペース)

函館市石川町85-1

【定員】20人※参加無料。申し込み不要